

夏の合同合宿2017'

千葉県立手賀の丘少年自然の家



カルチャースクール開始と共に始まった夏合宿。今年も十地域三十二名が参加し、お天気にも恵まれ翌日は森林浴を楽しむ事が出来ました。

七月三十日・三十一日

泉のおどり文化協会新聞

〒161-0031 東京都新宿区西落合1-15-7-105
一般社団法人 日本のおどり文化協会
電話 03-5983-6360

恒例の流山セントラルパークフェスタ

6月4日(日曜日)、生涯学習センター(流山エルズ)でセントラルパークフェスタ2017が開催されました。今年も地域の輪・人の

和・世代の環の3つの「わ」をテーマに、世代やジャンルを超えた楽しいイベントとして開催。当日は天候に恵まれ、新緑の中、

約3500人の方が来場されました。今年も「さくらさくら」「津軽じよんがら節」「南部俵積み唄」「相馬盆唄」を披露しました。出演の男子は海外に引越したの事で最後の舞台となりました。



び合ったり着物をたたんだり。今年も沢山浴衣を着る機会があるので今回の合宿で着付けや畳みかたを覚えてもらいました。その後はお稽古です。盆踊りや民謡などやさしい曲からチャレンジです。夜はバイキングでお腹一杯食事を頂き、お庭に出てキャンプファイヤーです。皆でたくさん歌い踊り、ゲームをして花火大会。皆夢中でした。翌日は早朝から全館お掃除です。手分けをして綺麗にしてから体操。そしてボリウム一杯の食事。お稽古では支部発表会に向けてそれぞれの演目を強化してのプチ発表会。それぞれ希望者が発表をする。と見ているお友達から大きな拍手をもらい満面の笑みで踊っていました。昼食も済ませて、歩いて手賀の丘公園へ。広大な敷地面積に沢山あるアスレチック。三時間があっという間。皆、森林浴を楽しみながら大粒の汗をかきながら走り回っていました。今回一緒に参加して下さった保護者の方にも大変にお世話になりました！



伊藤園さんとコラボ

伊藤園さんとスタジオジブリのキャラクター「となりのおにぎり君」コンセプトは、日本のお

茶とおにぎりは、誰かとも誰かを結ぶ日本のたからもの。主人公は、おかあさんがおとうさんのため

に愛情をこめてにぎった、おにぎり君。ゆのみ君やしやもじ君、ジャー君と一緒に、楽しい物語のはじまりです。「おにぎり」は、誰かのためにつくるもの「おにぎり君のまわりには、きっと素敵な出

会いがたくさん待っています。今回となりのおにぎり君に新曲が！そして踊りの振付はあの振付稼業エアーマンさんです。協会の子供達二百二十名も練習してみんな楽しんで歌って踊りました。



スタジオジブリ作品 となりのおにぎりくん

おにぎりと言ったら、「おーいお茶！」伊藤園さんが大事にしているキャラクターとなりのおにぎり君。浅草公会堂での公開収録

録では約二百二十二人の子供達が参加。この日学校が始まり夕方から参加、出演が最後の新宿・江戸川・富士見カルチャーのメンバーと合宿に参加した子供達七十名が舞台で。その他百五十二名は客席全面に広がって収録・録音がされました。



配しながら見守る父兄の皆さん。伊藤園の方にちゃんと美味しいお茶の入れ方を習ってその通りに入れていました。『いつもありがとう』とふだん言えない言葉や手紙を書いて一緒ににおにぎりを食べました。こちらも伊藤園さんのホームページ等で公開されています。

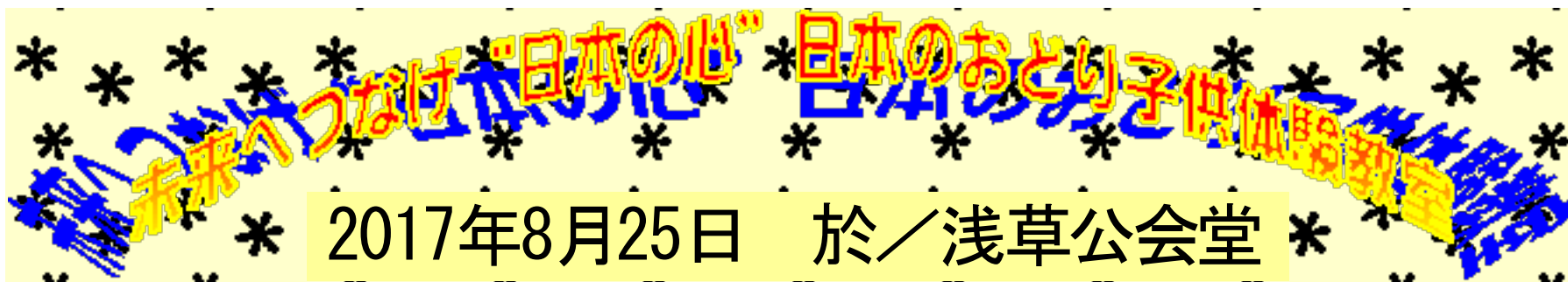
はじめてのおもてなし

こちらにも伊藤園さんのプロモーションビデオで発表会の翌日の朝九時に都内某所で撮影。十六組の親子さんが参加してくれました。子供達が一生懸命握るはじめてのおにぎりやお茶。ドア



京都市長賞受賞作品

最優秀演目賞として【京都市長賞】が送られた。十六団体・四十九曲の中でも特に優秀と認められた演目に送られる同賞を見事に受賞したのは文京カルチャースクールの『秋田おぼこ』の7名の皆さんでした。この演目は1年かけて出来るかどうか、それを見事に踊りきった子供達。審査員一同文句無し最優秀演目賞となりました。稽古を受けた子供の感想ではポーズで止められた稽古が一番辛かったと言っているが、その辛さに見事耐えての受賞本当におめでとうございました。



日本各地には、大切に守り伝えられてきた伝統文化や、人々の生活の中で長く親しまれ定着している生活文化が数多く存在します。これらは我が国の文化の基盤であるとともに、人々の心豊かな生活を実現するために欠く

カルチャー・スクール 十七地域で同時開催

このできない貴重な財産であり、確実に次世代へ継承していく必要があらります。しかしながら、今日の生活スタイルの急激な変化から、子供たちが、これらの伝統文化・生活文化に触れ、体験する機会が極めて少なくなっ

文化庁事業



伝統文化親子教室

ています。このため、文化庁では、次代を担う子供たちが親とともに、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、華道、茶道などの伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組に対して支援を行うことにより、伝統文化・生活文化の継承・発展と、子供たちの豊かな人間性のかんよう（涵養）に資することを目的として本事業を実施しています。当協会では過去二回採択を受け新宿・流山でそれぞれ単年度で活動を行ってきました。しかし、今回は十七支部より申請依頼がありこの事業に統括団体として申請。三千教室有る中で統括は僅か三団体。本年初めて採択を受ける事が出来ました。

三百人が四十九曲を披露！

参加申込者数は三百七十名！



この日、浅草公会堂には新宿区、中野区、文京区、葛飾区、墨田区、江戸川区、八王子市、日野市、東村山市、越谷市、富士見市、所沢市、千葉市、流山市、相模原市、鹿嶋市から三百名が集まりました。【おどり祭り】と題した第一回の合同発表会の司会には林家まる子さん。朝、集合してすぐに舞台リハーサル。会場の大ささにびっくりしていましたが、臆する事無く舞台を勤めてくれました。舞台は実に四時間。着付けや舞台のスタンプも約五十名。客席は出演者が楽屋に入りきらない為、二階を楽屋兼鑑賞席にして保護者として既に六百名が無く、ヒヤヒヤしましたが長時間入れ替わり立ち替わりで程よく埋まりました。チケットが足りなく、皆様にはご迷惑をお掛け致しましたがご協力と御理解頂き、大変に有難うございました。

発表会当日お誕生日を迎えました。



流山CSの 秋山梨花さん
文京CSの 若林さくらさん
新宿CSの 岡 結里子ちゃんがそれぞれ担当講師の先生からお花を頂きました。大変におめでとうございました～！！

終演後に司会の林家まる子さんから呼ばれて壇上に上がった3人。いったいなんで呼ばれたのか不思議な3人でしたが、なんと発表会当日8月25日に誕生日を迎えた3名でした！



門川大作京都市長様より祝辞を賜りましたのでご紹介をさせていただきます。

【祝辞】
「固有のおどりを持たない民族はない」と言われるほど、おどりは世界中の人々の生活に溶け込みその文化を見事に映し出しています。我が国でも全国各地に息づく地域の

特色豊かな盆踊りに見られるように、独自の文化を反映しながら、暮らしの中で育まれてきました。そんな日本文化の結晶を、未来を担う子どもたちに受け継ごうと続けてこられた「未来へつなげ日本の心」日本のおどり子ども体験教室。本日、その合同発表会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

開催に御尽力されました飯田栄志理事長をはじめ、一般社団法人日本のおどり文化協会の皆様にご挨拶を申し上げます。
参加される皆さん！皆さんはこれまでの稽古を通じて、日本のおどりの奥深さや、そこに込められた日本の心を大いに感じてこられたことでしょう。本日はその成果を存分に発揮され、仲間と共に素晴らしい舞台を創り上げてください。この教室を通じて得られた貴重な経験は、この先の皆さんの人生にとって、かけがえのない財産になるものと確信しています。そしてお一人おひとりの感じた思いを、ぜひ御家族や友達など親しい方に伝え、分かち合ってください。おどりのつなぐ輪がどんどん広がっていくはずですよ。

本市といたしましては、この教室を「伝統文化親子教室」としてサポートしている文化庁と共に、文化の力で日本を元気に、さらには世界にも貢献できるような力を尽くす決意です。文化庁の京都への全面的移転を機に、文化芸術を愛する全ての皆様から一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。